

一 般 質 問

令和5年第1回（3月）定例会

通告順	議席番号	議員名	ページ
1	15番	山中敏正	2
2	19番	渡邊光子	4
3	11番	岡安政彦	6
4	6番	岩崎隆志	8
5	1番	坂本敏治	9
6	3番	砂川和也	10
7	4番	岡野千枝子	11
8	10番	新島光明	12
9	8番	仲又清美	14
10	9番	にいつま 亮	17
11	14番	加藤ただし	18
12	2番	星野充生	20
13	12番	相馬正人	22
14	13番	浦田 充	23
15	5番	北村 あやこ	25
16	17番	佐藤 洋	26

質問方法は全議員とも複合式

※ 複合式とは、1回目の質問及び答弁はまとめて行うが、2回目以降は1項目ごとに一問一答で行う。質問時間は答弁も含め1時間以内とする。
(質問回数の制限なし)

15番 山中 敏正

1. ネットを安心・安全に活用する取組について

(1) 市内小中学校のインターネットの利用状況について

- ① 校内での利用時間及び、利用内容について、伺います。
- ② 校外での利用時間及び、利用内容について、伺います。
- ③ スマートフォンの保有率について、伺います。（小・中学校各学年ごと、資料にて説明願います）

(2) 児童生徒の置かれている状況について

- ① ネットの利便性と危険性について、伺います。
- ② ネットに関する相談状況について、伺います。
- ③ ネットいじめの状況について、伺います。（過去3年間の件数と内容を、資料にて説明願います）

(3) 情報モラル教育について

- ① 情報モラル教育の必要性について、伺います。
- ② 学校での情報モラル教育と関連づけた年間指導計画について、伺います。
- ③ 教職員を対象とした情報モラル教育の取組について、伺います。

2. 災害時のトイレ対策について

(1) 災害時のトイレ確保の基本的考え方について

- ① 災害用トイレの特徴と役割について、伺います。
- ② 災害時のトイレの種類について、伺います。
- ③ 災害時にトイレが確保できないことによる健康被害について、伺います。
- ④ 各指定避難場所におけるトイレの現状について、伺います。

(2) 災害時の指定避難場所におけるマンホールトイレの設置について

- ① 防災基本計画におけるマンホールトイレの位置づけについて、伺います。
- ② マンホールトイレの型式について、伺います。
- ③ 災害用マンホールトイレ整備に関する、国や県の財政支援について、伺います。
- ④ 近隣市の導入状況について、伺います。
- ⑤ 当市における導入の考えについて、伺います。

3. 城山公園と道の駅（仮称）おけがわとの連携について

(1) 城山公園について

- ① 城山公園の概要について、伺います。
- ② 公園の利用者層について、伺います。
- ③ 公園内でおこなっているイベントについて、伺います。
- ④ 遊具とベンチの設置状況について、伺います。（遊具の公園エリアごとの種類、休憩施設の配置箇所を地図にて説明願います）
- ⑤ 遊具の耐用年数について、伺います。
- ⑥ 高齢者用遊具の設置状況について、伺います。
- ⑦ 今後の整備計画について、伺います。

(2) 道の駅（仮称）おけがわとの一体利用について

- ① TTCグループから城山公園を活用した考えについて、伺います。
- ② 市は、事業者と城山公園利用の連携をどのように考えているのか、伺います。
- ③ 道の駅利用者のターゲット設定について（平日・休日）、伺います。

19番 渡邊 光子

1. 埼玉県受動喫煙防止条例等の関係について

- (1) 桶川市の対応で、市役所内の喫煙所の関係はどうなりますか。
- (2) 桶川駅近辺の喫煙所設置の関係はどうなりますか。
- (3) 公共施設、公道等での喫煙所、受動喫煙の関係はどうなりますか。
- (4) 埼玉県受動喫煙防止条例違反には罰則があります。桶川市に関係することを伺います。

2. コロナ感染予防のマスク着用等について伺います。

国ではコロナウイルス感染対策としてインフルエンザと同等の5類に引き下げ医療費は自己負担。マスク着用は自己管理としてマスク着用も、不着用も各自判断にゆだねるとする等に動いているようです。そこで桶川市の対応を伺います。

- (1) 小学生のマスク不着用についてです。身体の不調を感じる等でマスク不着用を担任の先生に申し出ることが出来ました。マスク不着用の児童は少なく、目にとまりがちで「なんでマスクをしてないの」等の声が耳に入る。いじめているわけではないと思うが、しかしマスク不着用の児童は肩身の狭い思いをしたのではないかと心配します。小学校ごとにマスク不着用の児童数、マスク不着用の児童を他の児童へ周知する方法等の学校の配慮を伺います。
- (2) 新年度へ向けて桶川市の対応を伺います。

3. 新生児の減少、少子化対策について

国民年金や国民健康保険制度等は、少子化の進行は大きく影響し、国民年金や国民健康保険加入者の減少になります。ゆくゆくは国民年金保険料の引き上げ、そして受給の減額につながります。また国民健康保険税の引き上げ、そして病院の窓口での患者負担の増額にもなります。

東京都は国に先んじて東京都の対策を講じて発表しました。桶川市も出来ることは先んじて、まず早く講じることが大事です。そこで伺います。

- (1) チャイルドシート、ベビーカー購入時の補助支援について伺います。
- (2) リトルベビーハンドブック令和5年度導入実施を伺います。

4. 公道の植樹帯の整備について

西東京へ行く機会があり、道すがら公道の植樹帯を見ながら運転しました。高木の抜けた所にはまた、若い木が植えてあり等、一部低木地も雑草を避ける等の広く敷地を取らないで緑が見られる工夫があり、マメな整備が目につきました。桶川市の植樹帯を見てみましょう。市道1号線は完成後、私が知るところでは約20年間、何ら整備が行われていないと言っても過言ではない。日出谷中央通り線も同じく完成後の整備が見られない。一部は植樹帯に高木と低木を植樹することになっていたのだろうが、なんら植樹されず放置され、雑草地となっている。次は最近、区画整理を終え桶川市へ移管された西側大通り線です。桶川市へ移管された後、一部は植樹帯へ高木と低木を植樹する予定だったと思われるが何ら手が付けられず放置されている。移管されて間もないので市道1号線や日出谷中央通り線に比べて雑草の茂りはさほどではないが、早い時期の整備を必要としています。そこで伺います。

- (1) 整備するには予算付けが必要です。予算付けする担当者も、3路線の現状を見て道路河川課へ整備への計画を促すべきです。そして長くても向こう5年以内に整備が完了するような計画的予算付けをするべきです。企画財政部長に答弁を求めます。
- (2) 市長として一般質問に耳を傾け問題点を聞き、また庁舎内を見て回る他、市内にも目を向け問題点はないか思いをはせ解決に尽力すべきです。環境整備を一環とした3路線の整備は必須です。3路線整備について市長の意見を伺います。
- (3) 道路河川課に伺う。3路線の整備放置は歴代の都市整備部長等の職務放棄があったのではないのでしょうか。マメな整備には予算も少なくてもすむが、3路線のように整備を長く放置した整備には多額の予算を必要とする。都市整備部長の3路線の整備方針を伺います。

1 1 番 岡安 政彦

1. 桶川市の今後の保育について

- (1) 人口減少化での保育所について
 - ① 公立・民間保育所の役割の変化について伺う。
- (2) 新たな保育ニーズについて
 - ① 一時預かりについて伺う。
 - ② 配慮が必要な児童の支援について伺う。
 - ③ これから必要とされる保育ニーズについて伺う。
- (3) 保育所の安定運営について
 - ① 保育士の確保について伺う。
 - ② 保育士等の資質向上について伺う。

2. 桶川市の防災対策について

- (1) 防災訓練について
 - ① 今回の訓練の、今までの訓練との違いについて伺う。
 - ② 訓練日の決め方について伺う。
 - ③ 公共施設の防災訓練について伺う。
- (2) 自宅避難者への支援について
 - ① 災害情報の伝達方法について伺う。
 - ② 救援物資の配布について伺う。
 - ③ 簡易トイレの家庭備蓄について伺う。
- (3) 要支援者の避難方法について
 - ① 名簿の取扱い方法について伺う。
 - ② 新規募集と受付方法について伺う。
 - ③ 関係各位への連絡方法について伺う。
- (4) 災害支援協定について
 - ① 新規の協定先について伺う。
 - ② 協定企業との対応方法と協議状況について伺う。
 - ③ 今後必要と思われる協定先について伺う。

3. ごみ処理広域化について

(1) 協議会設立に向けての協議内容について

- ① 調整会議での協議内容について伺う。
- ② 東松山市離脱後の協議内容について伺う。

(2) 協議会の事業内容について

- ① 協議会での事業内容について伺う。
- ② 東松山市離脱後の変更点について伺う。

(3) 新ごみ処理施設稼働に向けて

- ① 課題について伺う。
- ② 今後のスケジュールについて伺う。

6番 岩崎 隆志

1. 空き家対策について

- (1) 住宅を除去した場合、土地にかかる固定資産税を減額する「住宅用地特例」が解除され、税額が高くなるということだが、割合的にどれくらい高くなるのか伺う。
- (2) 空き家に対する市への苦情について伺う。
- (3) 市の空き家発生予防対策について伺う。
- (4) 空き家になってしまった場合の市の対策について伺う。
- (5) 解体費用の助成制度導入について伺う。
- (6) 老朽化した空き家が近隣住民に危険を及ぼす可能性がある場合の対処法について伺う。
- (7) 空き家を借りたいというニーズへの対応について伺う。

2. ナラ枯れ防止について

- (1) 市内の公園でのナラ枯れ被害の状況について伺う。
- (2) ナラ枯れ予防とカシノナガキクイムシ駆除について伺う。

3. 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の活用について

- (1) 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金を積極的な活用に向けて、事業者のニーズ調査が必要と考えますが見解を伺う。
- (2) 地域の施設利用者の安全と安心のためにも、必要な予算を確保し、積極的に地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金を活用すべきと考えますが見解を伺う。

4. 国民健康保険税の値上げについて

- (1) 国民健康保険税の現状について伺う。(資料請求)

1 番 坂本 敏治

1. 難病患者への支援について

- (1) 難病患者についての理解と啓発について伺います。
 - ① 難病患者も障害者サービスを使えることの周知をどのようにしてきましたか。
 - ② 障害者手帳を所持しない難病患者の相談実績はどのくらいありますか。
 - ③ 難病患者が利用できる、主な障害者サービスとその利用実績はどうでしょうか。
- (2) 難病患者への支援拡充について伺います。
 - ① 手当、見舞金等の創設に関する調査結果について
 - ② 市内循環バスの無料化の調査結果について
 - ③ 市の避難行動要支援者登録制度で、「生活支援を受けている難病患者の方」と限定しているのはどうしてですか。
- (3) 障害者計画・障害福祉計画策定について伺います。
 - ① 今年度実施したアンケート調査の概要と前回との変更点があれば示してください。
 - ② 次期計画策定に向けて、難病患者に関する施策等の検討予定はありますか。

2. 住み慣れた地域で、住み続けられる社会の実現について

- (1) 高齢者の住宅確保の課題について伺う。
 - ① 保証人が確保できない等の住宅確保をめぐる相談はありますか。
 - ② 高齢者の住宅確保が困難になる要因を市はどう捉えていますか。
 - ③ 住み慣れた地域で、住み続けられる社会の実現にどのように取り組んでいますか。
- (2) 公営住宅についての現状と課題について伺う。
 - ① 市営住宅の利用状況と入居補欠者はどのようになっていますか。
 - ② 市営住宅の管理運営で保証人を求めなくなりましたが、その理由はなんですか。
 - ③ 市営住宅の増設、県営住宅の誘致予定はないのでしょうか。
 - ④ 公営住宅法の目的と市の役割について説明してください。
 - ⑤ 公営住宅の拡充は、定住対策にもなると思うが市の考えはどうでしょうか。

3番 砂川 和也

1. いきいき農園について

(1) 現状について

- ① 利用者の募集方法については、どのように行っていますか。
- ② 利用者のコミュニティの様子と効果について教えてください。
- ③ 市街化調整区域内の農園の有無とその理由について教えてください。
- ④ 高齢者を対象としている理由について伺います。

(2) 市民農園との比較について

- ① 農協が運営する農園の特徴と効果について教えてください。
- ② 民間が運営する農園の特徴と効果についてどのように捉えていますか。

(3) 農による人への効果について

- ① 農が健康に与える効果は、どのように考えていますか。
- ② 農を楽しみたい市民ニーズについてどのように把握していますか。
- ③ 市民が市街化調整区域内の農地を活用できる方法は、検討していますか。

2. 国民健康保険の見える化について

(1) 国保会計の推移と見通しについて

- ① 被保険者数について教えてください。(グラフ資料)
- ② 国保会計における国保税の割合について教えてください。(グラフ資料)
- ③ 一般会計からの繰入額について教えてください。(グラフ資料)

(2) 国保制度について

- ① どのような仕組みになっていますか。
- ② 介護保険制度との違いについて教えてください。
- ③ 後期高齢者医療制度との違いについて教えてください。
- ④ 他保険者との違いについて伺います。

(3) 県単位化について

- ① 背景と経緯について教えてください。
- ② 概要について教えてください。
- ③ メリットについては、どのように考えていますか。
- ④ 目指す姿については、どのように考えていますか。

4番 岡野 千枝子

1. 日出谷地区コミュニティ拠点について
 - (1) 分庁舎跡地の利用について
 - ① 現在の状況と今後の利用予定について
 - ② 民間活力を導入しての整備について
 - ③ 今後のスケジュールについて
 - (2) 子育て支援について
 - ① 公立保育所としての機能について
 - ② 子育て支援施設としての機能について
 - ③ 児童館としての機能について
 - (3) 市民のための施設づくりについて
 - ① コミュニティ機能について
 - ② 生涯学習機能について
 - ③ 地域が望む機能について

2. 川田谷生涯学習センターについて
 - (1) リニューアルについて
 - ① 全体のコンセプトについて
 - ② 生涯学習センターとしての機能について
 - ③ 道の駅事業との連携について
 - (2) 川田谷公民館について
 - ① 複合施設としての事業展開について
 - ② 地域に根ざした事業について
 - ③ 関係人口が創出できる事業について
 - (3) 歴史民俗資料館について
 - ① 新たな常設展示について
 - ② 桶川の産業の展示について
 - ③ デジタル技術を用いた展示について
 - (4) 川田谷図書館について
 - ① 歴史民俗資料館と連携した図書配置について
 - ② 農業に特化した図書配置について
 - ③ リサイクル図書館の可能性について

10番 新島 光明

1. 放課後児童クラブの三期（春夏冬）休業中における給食の実施について
 - (1) 子育て支援及び親の就労支援の観点から給食提供の必要性についてお考えを伺う。
 - (2) この間、利用者側からの給食実施要望等がありましたか。あった場合の検討状況を伺う。
 - (3) 他の自治体での実施状況を伺う。
 - ① 実施している場合の給食提供の状況、給食提供が選択制の場合の利用状況及び保護者負担について

2. 聴覚障がい者支援について
 - (1) 手話の普及に向けた取組の現状について
 - ① 桶川市及び埼玉県登録手話通訳者になる為の講習会等の現状を伺う。また、県の講習会への参加には「入口試験」合格が必須とされています。各市では県講習会の「入口試験」合格に向けた講習会を開催しているようだが、桶川市及び近隣市町の開催状況を伺う。（資料）
 - ② 桶川市及び埼玉県手話通訳者への桶川市民の登録状況を伺う。（過去5年間の推移の資料）
 - ③ 手話通訳者となるためには様々な試験に合格することが必須のようですが、桶川市及び埼玉県登録手話通訳者での桶川市民の合格状況（受験者数及び合格者）を教えてください。特に県の場合は最終的な試験だけでなく、途中段階の講習会入口試験の結果も含めて伺う。（過去5年間の推移の資料）
 - (2) 障がい者のための防災バンダナについて
 - ① バンダナ作成の考え方及び目的を伺う。
 - ② これまで何枚作ったか。又、配布状況（配布先・配布枚数）を伺う。
 - (3) 災害時の聴覚障がい者支援について
 - ① 聴覚障がい者等情報弱者の為の災害情報等の伝達方法の現状を伺う。
 - ② 避難所等における聴覚障がい者等への情報伝達の現状を伺う。
 - ③ 聴覚障がい者を含む障がい者の避難訓練の現状を伺う。

3. DV等から逃れて住民票を移さずに転入した母子家庭への支援について

- (1) このような事例はこれまでに何件ありましたか。
- (2) 事例が母子家庭であった場合の支援の状況を伺う。
 - ① 就学及び就学援助費の支給について
 - ② 放課後児童クラブの利用及び費用について
 - ③ 保育所の利用及び費用について
 - ④ 社会保険を持たない場合の国民健康保険・国民年金の取扱いについて
 - ⑤ 児童手当及び児童扶養手当について
 - ⑥ こども医療費について
 - ⑦ 母親が妊婦であった場合、妊婦への支援及び出産後の乳児への支援について
 - ⑧ 相談体制の現状について

4. 市道の舗装基準について

一例として、市道3715号線は、最近全面舗装をやり直しました。しかし、舗装後1年前後で舗装部分にひびがはいる、現在そのひびが拡大しつつあります。私は、市道の舗装を何か所も見てきたと自負する立場からすると3715号線のひびの入り方が早いことに驚いています。これは、地域住民の民間会社で舗装業務にもかかわった経験のある方も異口同音に言っています。そこで伺います。

- (1) 市道の舗装基準を具体的に伺います。一般的に通行量や通行する自動車の種別（大型等）が考えられると思うがその点も含めて教えてください。また、市の基準は何種類なのか、どういう道路がその基準で工事が行われているか、いくつかの路線名を例示して教えてください。
- (2) もしも基準があり、路線の状況によって基準が異なっている場合は、3715号線はどの基準にあたるのか伺う。参考までに、この3715号線は、大型バスだけでも一日54台から85台通過し、一週間では約530台、年間では19万台を超える道路であることを踏まえて教えてください。

8番 仲又 清美

1. 「書かない窓口」の導入について

私は、1年前の令和4年3月議会一般質問において、「書かない窓口」の導入について、取り上げましたが、政府が、令和4年12月に決定した総合戦略で、デジタル技術を活用した事業に取り組む自治体を、2027年度までに、1500に増やす目標を掲げたことから、改めて、「書かない窓口」の導入について伺います。

(1) 「書かない窓口」の方向性について

- ① 「書かない窓口」の導入に向けて、有利な補助制度など、新たに活用できる交付金について伺う。
- ② 先の議会では、深谷市、鴻巣市の先進事例を紹介していただきましたが、昨年11月から伊奈町が、マイナンバーカード、または、運転免許証を読み取り、必要な申請書類を選択するだけで、住所や氏名などの情報が印字される機器を導入し「書かない窓口」を開始しました。伊奈町のデジタル技術を活用した事業の財源について伺う。

(2) 「書かない窓口」から、「行かない窓口」の方向性について

- ① デジタル庁は、「書かない窓口」の導入を支援するとともに、「行かない窓口」への移行も関係省庁や自治体と連携して進める考えを示している。「行かない窓口」とは、どのような行政サービスか伺う。
- ② 「書かない窓口」、「行かない窓口」、どちらも、デジタル技術を活用した事業であるが、本市の方向性を伺う。

2. 0歳から2歳の第2子の保育料の軽減について

現在、第2子の保育料の軽減の方向性が話題となっています。それは、国が3歳から5歳を対象に、幼児教育無償化を推進する一方、0歳から2歳の子への保育料の助成は、半額に留まっているからです。また、年収約360万円以上の世帯の場合は、第1子の条件が未就学であることから、本市も、現在、第2子であっても、保育料の軽減から外れる世帯があります。

東京都は、保育料の軽減から外れる世帯があることに注目し、2019年からは、第1子が小学生になっても、第2子の保育料を半額とする独自の助成を開始しています。

さらに、報道でもご案内のとおり、少子化対策として、小池都知事から令和5年度当初予算案で世帯年収や第1子の年齢にかかわらず、第2子を半額から

一律無料にすることを盛り込むとの発表があり、国の0歳から2歳の支援を大きく上回る決断をしました。

そこで、令和4年12月議会一般質問でも取り上げた、0歳から2歳の第2子の保育料の軽減について、改めて、本市の考えを伺います。

(1) 少子化対策について

① 東京都が第2子の保育料を、一律無償化にするとの報道について、本市の考えを伺う。

② 本市が、東京都並みに第2子の保育料を無償化した場合、少子化対策につながると考えるか伺う。

(2) 国の保育料の軽減の現況について

① 資料で示した通り、小学校に第1子が上がると第2子で4歳以上の年齢差があると、一部の世帯に保育料が半額から全額負担になると指摘しました。そのような実態を調査し対象となる世帯の数は把握していただいているか伺う。（※用意した資料を提供します）

② 現制度では、第2子でも、保育料の軽減から外れる世帯があると指摘した。そこで、東京都のように第2子の保育料をすべて無償化にすることは、財政面でハードルが高いが、現在まで、東京都が行っていた第1子の就学前までと言う年齢制限を払うことで、どの世帯の第2子の保育料は、半額、第3子以降は、無償となるよう検討する考えはないか伺う。

3. AYA世代のがん対策について

AYAとは、「Adolescent & Young Adult（思春期・若年成人）」のことを指します。学業や仕事、育児などに忙しい、15歳から39歳で、学び盛り、働き盛りの年代です。中でも、AYA世代のがん患者の特徴は、国立がん研究センター・国立成育医療研究センターの2019年の統計によると、男女別では、20歳から39歳までのがん患者の約80%は女性です。小児から19歳にかけての男女の割合は、ほぼ同じですが、20歳を超えると女性の割合が増えはじめ、25歳から39歳に至っては、圧倒的に女性の罹患数が多くなっているのがわかりました。そこで、AYA世代の中の20歳から39歳までの女性のがん対策について伺います。（※用意した資料を提供します）

(1) AYA世代のがん予防の取組について

① AYA世代が、がん罹患しないための予防や啓発等、本市の取組について伺う。

② 特に「子宮頸がん」と「乳がん」は、20歳から39歳までのA

Y A世代の女性が多く罹患するがんです。本市の「子宮頸がん」「乳がん」の検診受診率の現況について伺う。

※近年の検診受診率がわかる資料の配付を希望します。

(2) A Y A世代のがん患者への支援について

- ① 本市のA Y A世代のがん患者の実態について伺う。
- ② 現在、40歳以上のがん患者は、65歳以上の「介護保険サービス」を受けることができ、20歳未満のがん患者においても「医療費助成」や「日常生活用具給付」、及び「小児慢性特定疾病制度」が利用できます。しかし、A Y A世代のがん患者が在宅で療養する場合に支援が無いと思うが、本市の現況について伺う。
- ③ さいたま市と加須市が県内において、A Y A世代のがん患者への支援として「若年者ターミナルケア事業」等、支援を開始しているが、本市の方向性について伺う。

4. 城山公園、駅西口公園、ことぶき広場等、公共の場所を活用したイベントについて

(1) 各種イベントの開催について

- ① 本市の各種イベントの概要について伺う。（※イベント名や主催者のわかる資料希望）
- ② 市民や民間団体等が公園、公開空地等、公共の場所で、イベントやマーケットを開催する場合の使用条件について伺う。

(2) 「官民連携の魅力あるまちのイベント」開催について

- ① 北本市で、定期的で開催している「& g r e e n m a r k e t」について伺う。
- ② 「坂田コミュニティセンター」では、ミナツド運営協議会が春と秋に開催しているイベントの中で、市民等のハンドメイド雑貨や地元のカフェのお弁当や人気のパン屋さんの出店、農家の新鮮野菜などの物販を行う「さかたマルシェ」が人気を集めています。

しかし、「さかたマルシェ」の実行委員から出店希望者が多くなって、「坂田コミュニティセンター」内の会場では、手狭になり、隣接する弁天公園や離れた場所でも、公共の場所で開催ができないかと声が上がっている。

そこで、このような声を生かし、北本市の「& g r e e n m a r k e t」のような「官民連携の魅力あるまちのイベント」開催へと、本市も発展させることができないか伺う。

(例) 夫婦と子ども 2人 (4歳差)

世帯主の年収 約380万 妻パート約80万

幼稚園年長(第1子)無償 1歳(第2子)認可保育所 約1万5千円(半額助成)

↓↓

小学1年生(第1子)学童保育料負担 約1万5千円(民間)

2歳(第2子)認可保育所 約3万円(全額)

※2人の子の負担合計 約4万5千円(※約3万円の増)

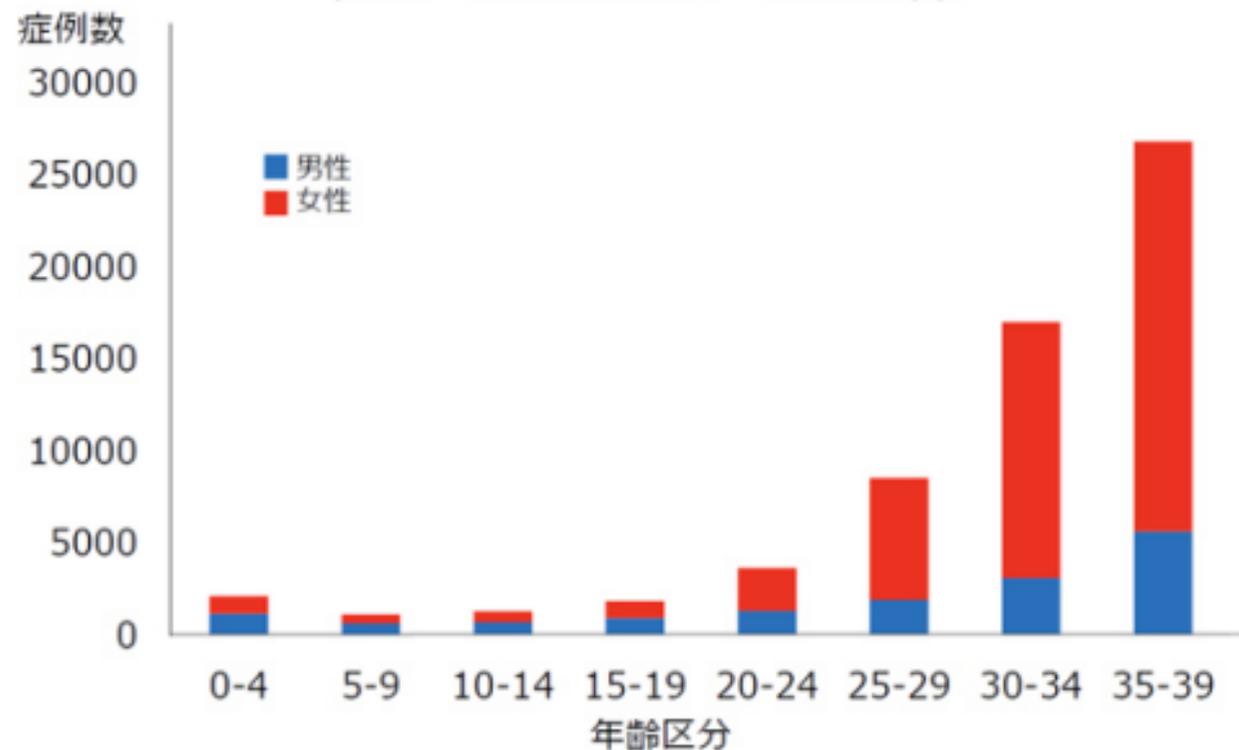
多子世帯保育の課題

		本年			翌年			翌々年
無償	小1以上 はカウ トしない		→	小1以上 はカウ トしない	第1子であるがカウ トしない(学童保育料 の負担あり)	→	小1以上 はカウ トしない	第1子であるがカウ トしない(学童保育料 の負担あり)
	5歳	第1子(無償)		5歳			5歳	
	4歳			4歳			4歳	
原則 有償	3歳		3歳		3歳	第1子のカウント だが無償となる		
	2歳		2歳	第1子のカウント になり有償となる	2歳			
	1歳	第2子(半額)	1歳		1歳			
	0歳		0歳		0歳			

※子どもが二人で、年齢が離れている場合に起きる現象

(図4)男女別の年齢階級別罹患数

自施設初回治療開始例 62,301例
(0歳～39歳、2016～2017年)



子宮頸がん和乳がんは、若いうちからの予防・早期発見が大切

一般的にがんは高齢者に多い病気です。「地域がん登録全国合計がん罹患データ（2014～15年）」によると、男女とものがんの罹患率は50代から増加し、高齢になるほど高くなっていきます。一方、女性のがんを年代別・部位別で見ると高齢になるほど消化器系と肺がんの割合が増加しますが、40歳代までは子宮頸がんや乳がんの割合が多数を占めており、女性特有のがんでは若い世代でも注意を払う必要があるということを示しています。

【国立がん研究センターがん情報サービス 小児・AYA世代のがん罹患より】

•罹患率が高いがん種は順に[全がんに占める割合]*

	1位	2位	3位	4位	5位
0～14歳 (小児)	白血病 [38%]	脳腫瘍 [16%]	リンパ腫 [9%]	胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 [8%]	神経芽腫 [7%]
15～19歳	白血病 [24%]	胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 [17%]	リンパ腫 [13%]	脳腫瘍 [10%]	骨腫瘍 [9%]
20～29歳	胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 [16%]	甲状腺がん [12%]	白血病 [11%]	リンパ腫 [10%]	子宮頸がん [9%]
30～39歳	女性乳がん [22%]	子宮頸がん [13%]	胚細胞腫瘍・ 性腺腫瘍 [8%]	甲状腺がん [8%]	大腸がん [8%]

9番 にいつま 亮

1. 教育の格差を解消するための支援について（見解・取組・成果・課題）
 - （1） 家庭の所得水準と学力の関係性について
 - （2） 体験格差が子どもの成長にもたらす関係性について
 - （3） デジタル活用の差が生む、新たな学力格差について

2. 生活困窮者支援について（見解・取組・成果・課題）
 - （1） 自立相談支援について
 - （2） 住宅確保について
 - （3） 衛生面の支援について
 - （4） 就労支援について
 - （5） 通信・連絡手段の確保について
 - （6） 学習支援について
 - （7） 他団体との連携について

3. 企業誘致が果たす役割について（見解・取組・成果・課題）
 - （1） 企業誘致の方向性について
 - （2） 企業ニーズの把握について
 - （3） 地場企業との連携・連鎖の拡大について
 - （4） 新たな視点での企業誘致の考え方について

1 4 番 加藤 ただし

1. 「道の駅（仮称）おけがわ」について
 - (1) 事業概要について
 - ① 事業スキームについて
 - ② 開業までの費用について
 - ③ 開業後の事業収支について
 - (2) 坂田地区整備事業との比較について
 - ① 事業スキームの違いについて
 - ② 坂田地区の収支状況について
 - ③ 坂田地区の事業効果について
 - (3) 国施設との連携について
 - ① 維持管理方法と費用について
 - ② 課題について
 - ③ 相乗効果について

2. 公立保育所の施設更新について
 - (1) 施設の現状について
 - ① 4保育所の施設状況について
 - ② 4保育所の利用者の推移について
 - ③ 今年度実施した鴨川保育所の改修内容について
 - (2) 保育の考え方について
 - ① 公立保育所の役割について
 - ② 民間保育所との関わりについて
 - ③ インクルーシブ保育の実施について
 - (3) 施設更新の方向性について
 - ① 4保育所の施設規模等の考え方について
 - ② 更新スケジュールについて
 - ③ 旧勤労青少年ホームの跡地活用について

- 3. 新ごみ処理施設について
 - (1) 基本合意の進捗状況について
 - ① 建設予定地について
 - ② 広域化に向けた協議について
 - (2) 協議会について
 - ① 協議会に向けての課題について
 - ② 今後のスケジュールについて

2番 星野 充生

1. 公共施設の改善要望

- (1) 市役所はじめ公共施設における改善要望が寄せられた。まずは要望があった際、どのような流れで検討されるのか問う。
 - ① 市役所の場合。
 - ② 指定管理施設の場合。ここでは坂田コミセンを例にして説明を求める。
 - ③ 市役所においては、いまだどこに何があるのかわかりづらいとの声が届く。この1年で市民の声から改善がなされた例はあるか。
 - ④ 坂田コミセンにおいて、オープン以来何か改善を求める声があったか、その場合その声によって改善された例はあるか。
- (2) 市の情報だけでなく、市民団体、サークル等の情報を市役所内にて発信できるようにならないか、との声をいただく。
 - ① そのような要望があった際の現在の対応を問う。

2. 高齢者聴力検査導入及び補聴器購入補助

- (1) 2020年12月定例会において高齢者補聴器購入補助、及び高齢者の聴力検査導入について一般質問を行った。かつて2019年9月定例会において「特定健康診査における高齢者の聴力検査・検診及び加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書」を政府に対して提出した。今年に入り千葉県鎌ヶ谷市が高齢者補聴器購入費用助成事業を開始した。この度高齢の市民から補聴器購入補助の要望をいただいたため、改めて市の意向を問う。
 - ① 特定健診における高齢者の聴力検査導入の検討はされているのか。
 - ② 高齢者の補聴器購入費用の補助制度創設の検討はされているのか。

3. いじめ対策

- (1) 今年は「いじめ防止対策推進法」ができてから10年。いじめをめぐる事件は、いまでも各地で相次いでいる。桶川市においても裁判が起きている。
 - ① これまでのいじめ対策において、桶川市はアンケートやさわやか相談員等の相談からいじめを早期の段階から発見し対策をとっている。しかし、発見した段階で既にいじめは発生している。いじめを生まない環境づくりの認識について市の見解を問う。

- ② どのような環境、学校であればいじめが生まれないと市は考えるか。
- ③ 教員側の研修の充実も重要である。現在の研修の実態について伺う。
- ④ 生徒側もいじめ問題を我がこととしてとらえ、主体的に考え行動することが重要と考える。このような視点で市や学校で取り組んだ事例があるか。あれば詳細を伺う。

12番 相馬 正人

1. 市道の補修について

(1) 補修の現状

- ① 年間の補修個所数
- ② 補修の内容
- ③ 補修となる基準

(2) 情報収集方法

- ① 市民からの通報状況
- ② 郵便局からの情報提供状況
- ③ 職員による調査方法

(3) 坂田コミュニティセンター前の道路

- ① 最近の補修状況
- ② 傷んでしまう原因
- ③ 補修の予定

(4) 今後の予定

- ① 市道の補修計画

2. 市内の公共トイレについて

(1) 市内の公共トイレの現状

- ① 公共トイレ数
- ② 公共トイレの場所
- ③ 今後の設置計画

(2) 市内店舗との提携

- ① 市内店舗との提携事業
- ② 「大和市公共のトイレ協力店」の内容
- ③ 今後の可能性

13番 浦田 充

1. 障害者が安心して地域社会で暮らすための環境整備について

(1) 障害者が感染症を発症した場合の福祉サービス提供の継続について

① 新型コロナウイルスに感染した障害者や要介護者が入院できない場合の訪問介護サービス継続のための本市の対応を伺う。

ア. 契約事業者からサービス提供を受けられない人にどのような対応を取ったのか。

イ. 近隣自治体における対応状況を伺う。

ウ. 感染者へサービス提供を行った訪問介護事業者を把握しているか。

(2) 障害者や障害者団体の活性化に向けた本市の取組について

① リニューアル後の地域福祉活動センターのハード面の現状と課題を伺う。

ア. 地域福祉活動センターは、障害者にとって重要な施設だが、リニューアル前に障害者を対象としたアンケート調査などが必要だったのではないか。

イ. 点字ブロックのない箇所への点字ブロック設置や手すりの高さについての改善要望に対して、「指定管理者職員によるご案内を行うこととした」とのことだが、常時対応できるのか。

ウ. W i - F i の3階の集会室への設置を検討することだが、はじめから全館に設置すべきだったのではないか。

② 障害者（難病等を含む）団体間の情報共有や意見交換、自治体への働きかけなどを行う障害者団体連絡協議会等の設置について

ア. 本市の障害者団体間の情報交換等はどのような場で行われているか。

イ. 協議会等を通じて障害者の声を集約し、市政に反映させることが必要ではないか。

2. 中学校の校則の合理性について

(1) 改定状況と今後の見直しについて

① 各校の改定状況とその内容をできる限り遡って時系列で伺う。

(資料配付)

② 改定のきっかけ等を伺う。

③ 靴下、靴の色等の厳しい制限にどんな合理性があるのか。

④ L G B T Q への頭髪や制服等の配慮について取組状況を伺う。

3. バリアフリー化への取組について

(1) 公衆トイレ（公園のトイレを含む）のバリアフリー整備状況を伺う。

① 小便器への手すり設置状況を一覧表で伺う。（資料配付）

② 公園への多目的トイレ整備について現状と課題を伺う。

(2) マイン連絡橋への屋根設置について

① 屋根の設置に向けた耐火改修や橋の架け替え等の検討状況について

ア. 建築物の審査を通すための課題を財政面も含めて具体的に伺う。

イ. 審査の流れ、期間を伺う。

5番 北村 あやこ

1. 市政を閉鎖的な教育委員会の改善を。

(1) 処分の基準を明らかにしていただきたい。

- ① 市と県の処分の内容はどう違うのか。訓告、戒告、嚴重注意、懲戒処分の内容について説明を。
- ② 何をもっていじめや被害の判断をするのか。
- ③ いじめ調査委員会にかける基準は何か。
- ④ セクハラと認定する基準は何か。被害に男女の違いはあるのか。

(2) 異物混入で明らかになった劣悪な給食室の改善を。

- ① 前議会、市長は「基本的には老朽化対策基本計画に沿って改修等は進めていきたいが、これまでも必要に応じて緊急性のあるものについてはその都度対応していきたい」と答弁している。二度と異物混入が起きないように、速やかに改修をすべきではないか。市長に問う。

2. 施設管理公社の根本的改善を求める。

(1) 市民の苦情について

- ① これまで、市に届いた施設管理公社についての苦情はどのようなものか。その対応はどうしたか。

(2) 長年、サンアリーナの施設管理委託で、不正が行われてきた。施設清掃の一部・管理事務所一帯の清掃を事務職員が行い、請け負った(株)サイオーは、事務所部分も清掃を行ったと虚偽報告を繰り返している。(株)サイオーと事務局長との癒着があり、調査結果を報告いただきたい。

3. 旧飛行学校工事の調査と改善について

(1) 市長答弁の約束は実行されたか。

- ① 年内をめどに、年内中にはその確認、照合作業をまとめ上げるように指示している。との市長答弁だったが、その結果を資料で説明願いたい。
- ② 「いつまでも時間をかけてもいかななものかというところもあり、市としてはしっかりとスケジュール感を持って解決に臨むということも、大変重要なことと考えている。私のほうから改めて今年度末までの解決を目指して、年明けには大学側と協議を進めるよう、過日改めて指示をした」、は実行されたのか。解決はできたのか。

17番 佐藤 洋

1. 令和5年の財政を考える。
 - (1) 歳入の内訳について
 - (2) 歳出の重点について

2. 選挙の投開票事務について
 - (1) 若者（学生等）の協力体制の依頼について

3. 詐欺・強盗についての当市の現況
 - (1) 桶川市内の3年間の合計件数と県内の状況

4. ひめゆり部隊与那覇百子さんについて
 - (1) 貴重な記録を飛行学校や教育で紹介できないか。